

衛研第2-49号
平成30年 3月 7日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
埼玉県病原微生物検出情報（月報）
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成30年第9週（平成30年2月26日～平成30年3月4日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症の届出はなかった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2人、侵襲性肺炎球菌感染症4人、梅毒1人、百日咳5人、麻しん2人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(20.91 14.61：図1-3)の定点当たり報告数は前週より減少したが、今しばらく注意が必要である。保健所別では、幸手(18.93)、草加(18.58)保健所管内からの報告が多い。第6～9週の4週間(2月5日～3月4日)に採取されたインフルエンザ検体からは、B型(山形系統)が101件(68.7%)、AH3型が44件(29.9%)、AH1pdm09型が2件(1.4%)検出されている。一方、基幹定点報告対象疾患であるインフルエンザ(入院)(16人 20人)の報告数は増加した。年齢階級別では70歳以上が7割を占めている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.33 3.36：図4)の定点当たり報告数は前週と同水準であった。保健所別では、川口(8.24)、春日部(5.33)保健所管内で多い状況が続いている。感染性胃腸炎(5.17 5.98)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、春日部(5.33 10.17 16.00)保健所管内で2週連続して大きく増加し、川口(13.18)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎17人の報告があった。その他の基幹定点報告対象疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎1人、クラミジア肺炎2人、感染性胃腸炎(ロタウイルス)1人の報告があった

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1人(類型 患者、血清型 O157)
四類感染症	報告なし	
五類感染症	アメーバ赤痢	1人(病型 腸管外アメーバ症)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 1人、 <i>Serratia</i> sp. 1人)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2人(血清群 A群 2人)
	侵襲性肺炎球菌感染症	4人
	梅毒	1人(病型 無症状病原体保有者)
	百日咳	5人
	麻しん	2人(病型 検査診断例 1人、 修飾麻しん(検査診断例) 1人)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報 (第9週) 小児科定点・内科定点からの報告

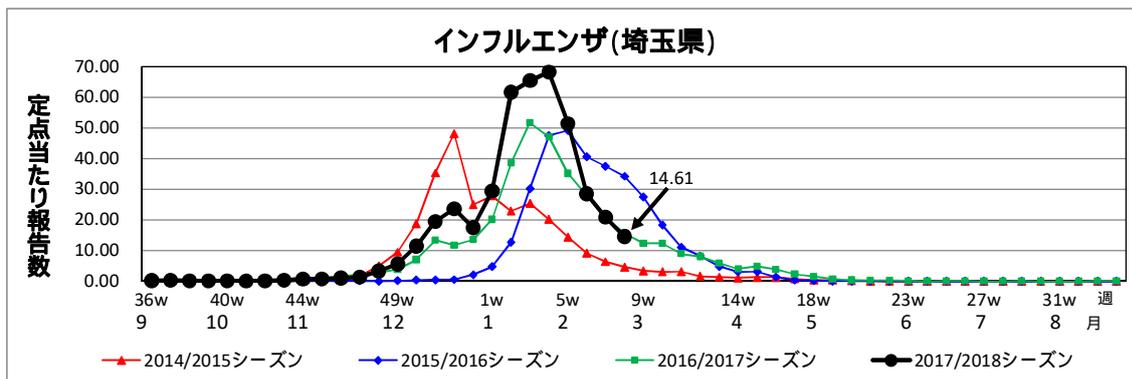


図1 定点当たり報告数の推移

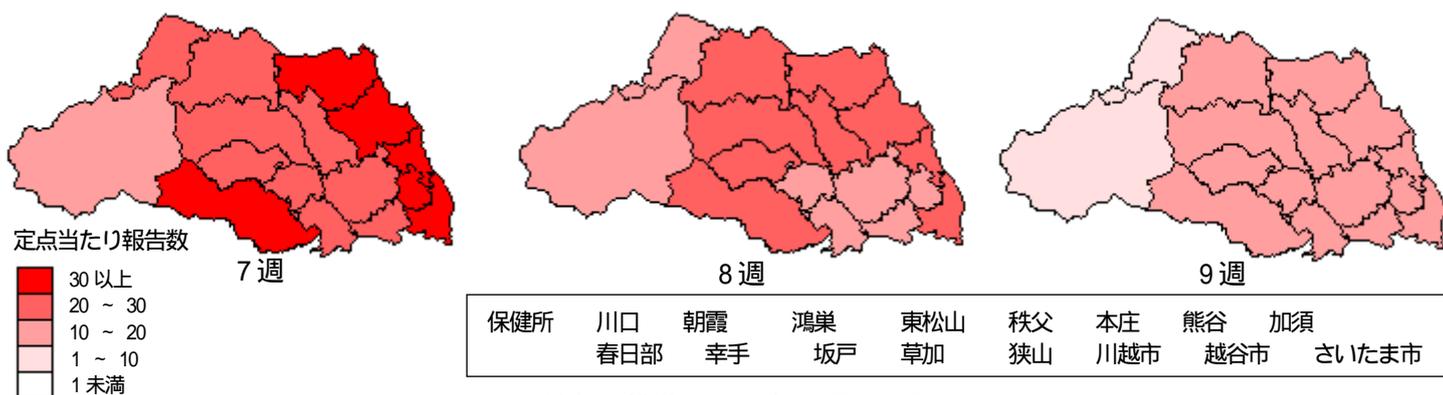


図2 流行の推移 (2018年7週~9週)

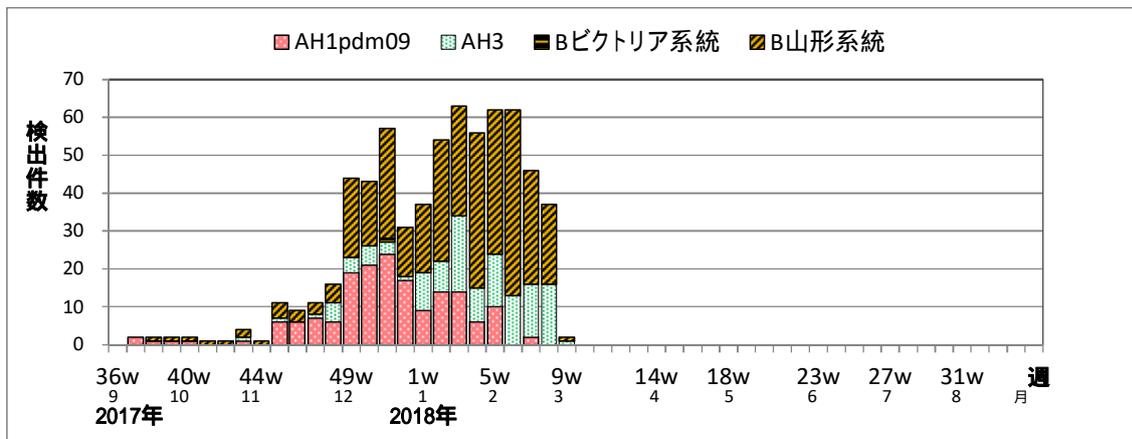


図3 AH1pdm09、AH3、B (ビクトリア系統、山形系統) の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

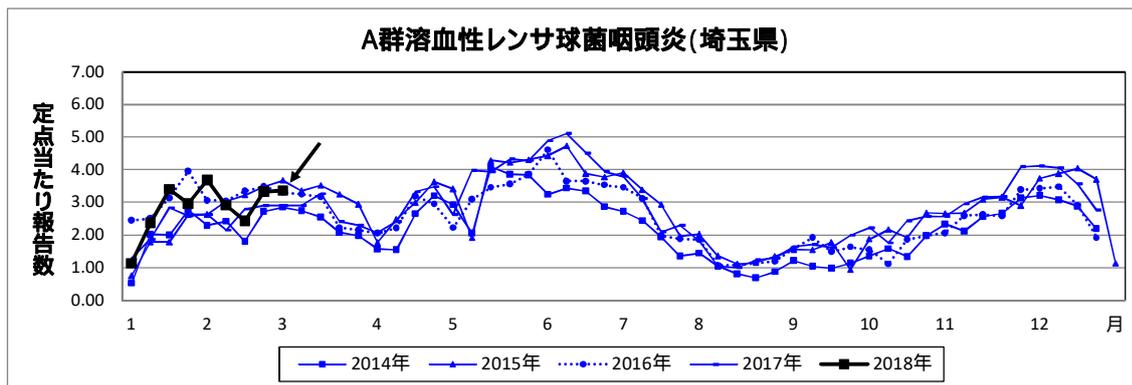


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第9週)

(2018年3月6日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2017年 累計		今週 届出	累 計	2017年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1301	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ		1		腸チフス		1	3
細菌性赤痢		3	7	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	1	5	246				
四類感染症							
E型肝炎		4	19	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	12	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			1
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア		1	1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症		6	99
つつが虫病		1	2	レプトスピラ症			2
デング熱			12	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	8	53	水痘*		1	12
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			11	先天性風しん症候群			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	10	57	梅毒	1	20	234
急性脳炎		12	45	播種性クリプトコックス症		1	3
クリプトスポリジウム症				破傷風			2
クロイツフェルト・ヤコブ病			4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	8	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			12
後天性免疫不全症候群		4	35	百日咳	5	32	-
ジアルジア症				風しん		2	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	21	麻しん	2	4	5
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2	8
侵襲性肺炎球菌感染症	4	33	130				
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計				

累計は診断日で集計
* 2017年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第9週 平成30年2月26日～平成30年3月4日)

	合計		-6ヵ月		12ヵ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10-14		15-19		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80～					
	合計	報告数	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～																													
インフルエンザ #1	3,725	11	45	121	142	182	250	242	255	219	183	171	476	176	166	220	286	213	168	112	87																									
RSウイルス感染症	67	6	19	21	9	4	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
咽頭結膜熱	25	-	1	3	6	3	4	1	1	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	544	-	1	19	26	47	69	74	88	51	43	38	59	4	25																															
感染性胃腸炎	968	9	39	98	91	98	95	93	63	58	44	46	102	24	108																															
水痘	46	1	1	2	2	3	5	4	5	7	5	4	7	-	-																															
手足口病	4	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-																															
伝染性紅斑	13	-	-	3	1	-	2	2	2	-	-	1	1	1	-																															
突発性発しん	48	3	21	20	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																															
ヘルパンギーナ	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-																															
流行性耳下腺炎	15	-	-	-	-	1	1	2	4	2	2	1	1	-	1																															
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-																															
流行性角結膜炎	17	-	1	1	1	1	2	-	-	-	-	-	1	1	1	4	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																															
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-																															
クラミジア肺炎 #3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																															
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																															
(入院)インフルエンザ	20	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	14																													

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第7週 (2月12日～2月18日)

平成30年3月7日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(56.67)、高知県(45.81)、宮崎県(42.68)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,663例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(57例)、1～9歳(304例)、10代(71例)、20代(14例)、30代(19例)、40代(39例)、50代(63例)、60代(150例)、70代(292例)、80歳以上(654例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の報告数は1,137例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は茨城県(0.79)、石川県(0.72)、富山県(0.69)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(6.42)、山形県(4.33)、北海道(4.24)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(14.00)、宮崎県(8.78)、広島県(7.33)である。水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(0.50)、石川県(0.48)、秋田県(0.46)である。手足口病の定点当たり報告数は第4週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は長崎県(1.14)、山形県(0.70)、宮崎県(0.44)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第4週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(0.23)、石川県(0.21)、神奈川県(0.16)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.72)、鹿児島県(0.55)、岩手県(0.43)である。

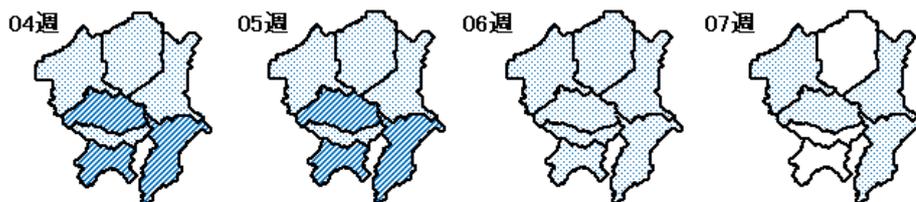
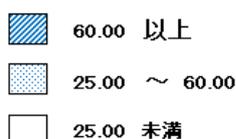
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(0.75)、青森県(0.67)、徳島県(0.57)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第4週以降増加が続いている。21都道府県から56例報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～4歳(32例)、5～9歳(14例)、10代(4例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第7週(2月12日～2月18日): 通巻第20巻 第7号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(30.01)、千葉県(28.85)、群馬県(28.63)、埼玉県(28.54)からの報告が多い。

インフルエンザ



平成30年 07週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	146,774	39,108	3,601	1,675	2,519	7,306	6,145	9,137	8,725
	定点当たり	29.65	25.75	30.01	22.04	28.63	28.54	28.85	21.96	24.93
RSウイルス感染症	報告数	1,137	229	16	12	10	65	31	57	38
	定点当たり	0.36	0.24	0.21	0.25	0.19	0.40	0.23	0.22	0.18
咽頭結膜熱	報告数	818	215	59	5	25	39	18	37	32
	定点当たり	0.26	0.23	0.79	0.10	0.46	0.24	0.13	0.14	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,629	2,022	174	47	120	393	318	575	395
	定点当たり	2.10	2.12	2.32	0.98	2.22	2.43	2.37	2.19	1.82
感染性胃腸炎	報告数	12,795	3,519	249	64	188	682	510	1,096	730
	定点当たり	4.05	3.69	3.32	1.33	3.48	4.21	3.81	4.17	3.36
水痘	報告数	695	237	14	10	7	66	25	66	49
	定点当たり	0.22	0.25	0.19	0.21	0.13	0.41	0.19	0.25	0.23
手足口病	報告数	362	24	4	-	3	2	5	4	6
	定点当たり	0.11	0.03	0.05	-	0.06	0.01	0.04	0.02	0.03
伝染性紅斑	報告数	168	83	1	4	3	8	13	19	35
	定点当たり	0.05	0.09	0.01	0.08	0.06	0.05	0.10	0.07	0.16
突発性発しん	報告数	928	267	7	12	14	43	29	92	70
	定点当たり	0.29	0.28	0.09	0.25	0.26	0.27	0.22	0.35	0.32
ヘルパンギーナ	報告数	29	3	1	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	0.01	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	379	91	4	5	15	13	8	22	24
	定点当たり	0.12	0.10	0.05	0.10	0.28	0.08	0.06	0.08	0.11
急性出血性結膜炎	報告数	8	2	1	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.06	-	-	0.03	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	356	162	13	5	22	18	22	12	70
	定点当たり	0.51	0.78	0.76	0.42	1.47	0.45	0.63	0.32	1.35
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	9	2	-	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.10	-	-	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	65	11	5	1	1	1	2	1	-
	定点当たり	0.14	0.13	0.38	0.14	0.11	0.10	0.22	0.04	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	3	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	56	3	-	1	1	-	-	1	-
	定点当たり	0.12	0.04	-	0.14	0.11	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2018年2月号

2018年3月7日発行

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所及び越谷市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

インフルエンザ検体は前月より減少し、2月は167検体搬入されました。検出されたインフルエンザウイルスはB型が104件、AH3型が44件、AH1pdm09が3件で、AH1pdm09の割合が前月より減少しました。麻しん患者4例10検体から麻しんウイルスが検出されました。

海外感染例の赤痢菌が3件検出されました。

細菌検出状況

平成30年2月28日現在

病原体名	分離月	1月	2月	備考（2月分）
三類	赤痢菌		3	<i>S. sonnei</i> : 1 (フィリピン) <i>S. flexneri</i> 2a : 1 (インドネシア) <i>S. flexneri</i> variant Y : 1 (インドネシア)
	チフス菌	1		
	コレラ菌	1		
	腸管出血性大腸菌O157	1		
	腸管出血性大腸菌その他	1		
四類	レジオネラ菌			
五類	溶血性レンサ球菌（劇症型）	1		
	その他	3	1	薬剤耐性アシネトバクター (MDRA): 1

ウイルス検出状況

全数把握対象疾患

四類感染症 平成30年2月28日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数			
		1月	2月	3月	累計
E型肝炎	検体数	1	3		4
	E型肝炎		2		2
A型肝炎	検体数		1		1
	A型肝炎		1		1

五類感染症 平成30年2月28日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数				その他のウイルス
		1月	2月	3月	累計	
急性脳炎 (四類以外)	検体数	20	8		28	
	ライノ	1			1	
	単純ヘルペス 1	1			1	
	EB	2			2	
	ヒトヘルペス 6	1			1	
風しん	検査中		2		2	エンテロ nt(1), インフルエンザ B(1)
	検体数	2	6		8	
	風しん		6		6	
麻しん	検査中		16		16	
	検体数		10		10	
	麻しん		6		6	

風しん及び麻しんの検査中各6検体は、風しんウイルス、麻しんウイルスは陰性です。

nt : not typed

定点把握対象疾患

平成30年2月28日現在(累計：1月～)

季節性インフルエンザ

臨床診断名	検出月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計	その他のウイルス
		検体数	検体数												
インフルエンザ	インフルエンザ AH1pdm09	266	167											433	ヒトメタニューモ(1), ライノ(1)
	インフルエンザ AH3	52	3											55	
	インフルエンザ B	56	44											100	
	インフルエンザ B	151	104											255	
	検査中	2	19											21	

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く)

平成30年2月28日現在(累計：1月～)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体合計数												累計	その他のウイルス
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
	ウイルス	21	29											50	
RSウイルス 感染症	検体数	6	1											7	コロナ(1)
	RS	5												5	
	検査中		1											1	
咽頭結膜熱	検体数	1	2											3	
	アデノ 1														
	アデノ 2														
	アデノ 3														
	アデノ 4														
アデノ 5															
	検査中		2											2	
感染性胃腸炎	検体数	7	5											12	ヒトヘルペス7(1)
	ノロ	3												3	
	サポ	1												1	
	アストロ														
	ロタ (A)														
アデノ 40/41															
	検査中		4											4	
水痘	検体数		2											2	
	水痘帯状疱疹		2											2	
突発性発しん	検体数		2											2	
	ヒトヘルペス 6														
	ヒトヘルペス 7														
	検査中		2											2	
ヘルパンギーナ	検体数		1											1	
	コクサッキー A2														
	コクサッキー A4														
	コクサッキー A5														
	コクサッキー A6														
	コクサッキー A8														
	コクサッキー A9														
	コクサッキー A10														
検査中		1												1	
無菌性髄膜炎	検体数	7	16											23	
	EB	1												1	
	サイトメガロ		1											1	
	ヒトヘルペス 7	1												1	
	ムンプス	1												1	
検査中		13												13	

感染症発生動向調査 2018年

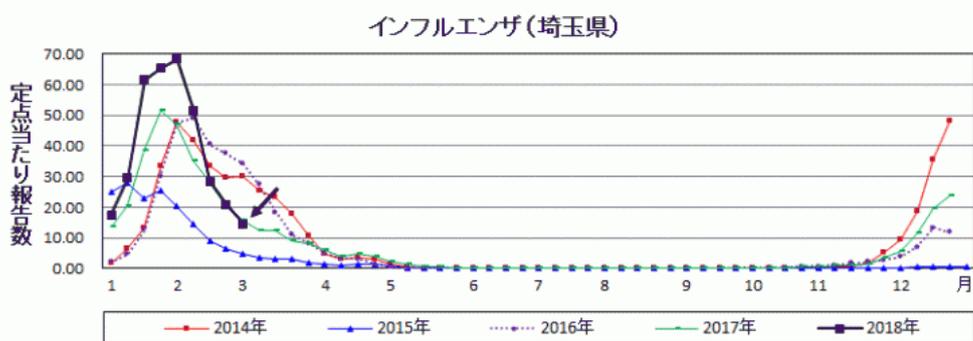
- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第8週](#)

感染症の流行状況 2018年 第9週

2018年第9週（平成30年2月26日～3月4日）の要点 平成30年3月7日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週より減少しましたが、今しばらく注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	伝染性紅斑(りんご病)	↑	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	↓	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン